

呼びかける、
心地よい生活

三宅一生



三宅一生<イッセイ・ミヤケ>

東京コレクション、正式開幕。

新設した大山町の事務所地下二階。普段は展示会に使う狭い会場だ。「狭さ」

は、観客との「近さ」である。もちろんイッセイ流の

プリーツがあり、ますます技術的に高度で、しかも表情は優しく自然になってい

る。だが、コ

レクション

は、驚きや突

飛さを目指し

ていない。大

上段に構えて

「どうぞ」と

いう類のもの

ではなく、等

身大の呼びか

けなのだ。

スポーツ・

カジュアルが

これからの普

通の服の太前

提だとしよう。「イッセイ」

の服はその大きな流れに乗

ろうとしている。キーワー

ドは、心地よさ。この一点

にコレクションのすべてが

向かう。

ストレッチのボディース

ーツに、ふんわり膨らんだ

玉虫ダウン。対照的な、絹

ジャケットと緩やかに広が

るプリーツスカートとの組み

合わせ。あるいは、ゲーム。

繕った跡のようなギザギザ

模様プリントも面白い。

心地よい生活のための服ばかり。

「もはや芸術の域」と評